

ソーラー式信号機/メッセージボード【CGS/CM/CMFシリーズ】バッテリーの管理方法

日頃、弊社製品をご愛顧頂きまして誠に有難うございます。

ここでは、GPSソーラー式信号機(CGSシリーズ)及びソーラー式メッセージボード(CM/CMFシリーズ)についてのバッテリー管理方法についてご説明致します。

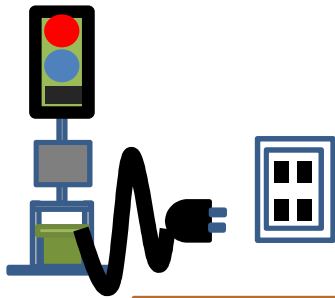
下記のように管理しますと、バッテリー劣化を抑えることができますので、ご協力賜ります様、お願い申し上げます。

1. バッテリーの管理

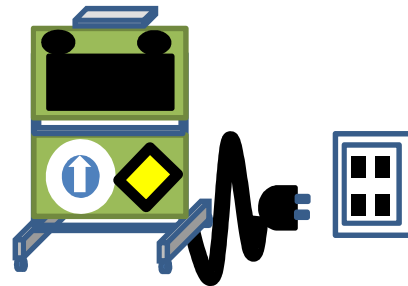
・現場から返却されましたら、**必ずAC充電(バッテリー内のコンセント)を行い、バッテリーを満充電にしてください。**

充電時間: **約24時間以上(要充電から)**

(過充電防止回路付きですので、バッテリー満充電になれば自動的に充電を停止します。)



24時間以上ACコンセントにて充電



24時間以上ACコンセントにて充電

2. バッテリーの寿命

・バッテリーのメーカー寿命は、2年半～3年です。バッテリーの管理状態によって寿命が以下の様になります。

満充電にて保管 メーカー寿命(2年半～3年)より長く使用できる場合があります。

要充電にて保管 バッテリーが新品状態で劣化につながり、使用できなくなる場合があります。

※保管の際は、バッテリーをAC充電して頂き、必ずバッテリーを満充電にしてください。

※保管しているバッテリーは定期的に電圧確認を行って頂き、電圧が下がっていた場合、充電を行ってください。

3. バッテリー劣化状態の確認

・バッテリーの劣化状態を知る事により、バッテリーの交換目安や、現場でのトラブル防止につながりますので、定期的に劣化状態の確認テストを行うことをお奨めします。

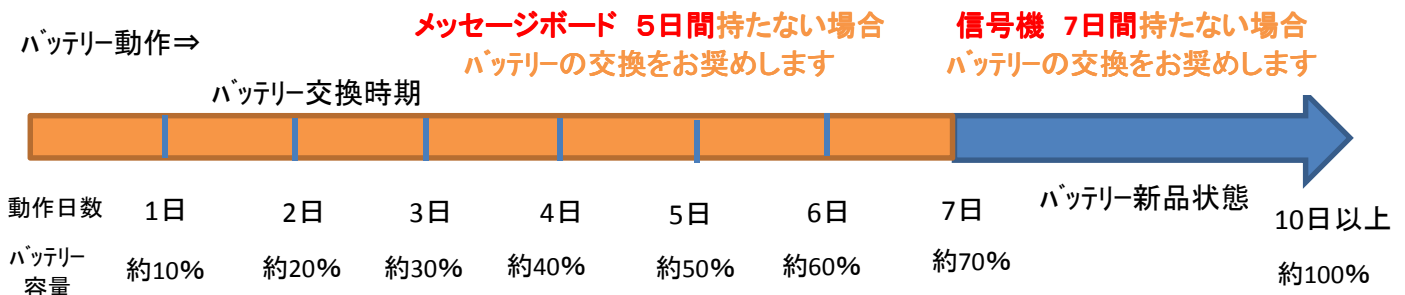
【バッテリー劣化テスト方法】

① AC充電にて24時間以上充電をし、バッテリーを満充電にします。

② バッテリーボックスに接続してあるソーラーパネルを外します。

③ 電源を入れ、動作を開始し、消灯するまで放置します。

※放置し消灯するまでの時間(無日照時間)を測定し、劣化状態を判断します。



④ **信号機の場合 7日間持たない場合、バッテリーを交換をお奨めします。**

メッセージボードの場合 5日間持たない場合、バッテリーを交換をお奨めします。

⑤ 電源を切り、AC充電にて24時間以上充電し、バッテリーを満充電にします。

ご協力の程、宜しくお願いします。